

# 車体 解体マニュアル

## 採血車

東京特殊車体株式会社

TEL:0426-44-3517(代)

作成日 2005.01.13

# はじめに

本マニュアルは、採血車を解体する際の留意点、解体手順を記載したものです。

## 車両を解体する際の留意点

1. 弊社の車両は鉄製骨格、鋼板等を使用しバス型に架装してあります。  
各部は主に溶接結合となっていますので、解体作業は切断機等を使用し行って下さい。
2. 解体した部品は、鉄・アルミ・ステンレス・樹脂(FRP・PP等)・ゴム類・木材・配線材等材質別に分類し、適正な処理を行って下さい。
3. 取り外したビス・ボルト類は、まとめて適正な処理を行って下さい。

### ！注意

ビス・ボルト類は、表面処理材に六価クロムが含有されている場合があります。

4. 本マニュアルは、当社で架装した車体の解体手順について記述したものです。  
架装ベース車のシャシ関係・架装部品については、ボデーより取り外した後各シャシメーカー・部品メーカー等の指示により、解体・廃棄を行って下さい。

## 主なシャシー部品

・シャシフレーム	・緩衝装置	・バッテリー	・原動機
・運転装置	・灯火関係部品	・動力伝達装置	・キャブ部品
・ECU	・走行装置	・運転席	・その他シャシ電装部品
・制動装置	・インストルメントパネル	・助手席	・油脂関係

## 主な架装部品

品目	メーカー	品目	メーカー
・発動発電機 ・バスクーラー ・ルームエアコン ・ヒーター ・安定ジャッキ ・天井換気扇 ・蛍光灯	本体もしくは取扱書に記載してあります	・充電器 ・客席(2人掛け席等) ・仕切扉開閉器 ・扇風機	本体もしくは取扱書に記載してあります

## 採血車の解体手順

車両解体の際には、まず以下の物の抜き取りを行い、それぞれ決められた方法での処理を実施して下さい。

- ・エンジンオイル
- ・ブレーキフルード
- ・冷却水
- ・クーラー冷媒(純正クーラー・バスクーラー・ルームエアコン)

### 1. 車両に取付けられている機器、部品の取り外し

- ①前項リストに記載ある機器・部品関係を取り外して下さい。(主にビス・ボルト固定)  
取り外し後の廃棄方法などにつきましては、各部品のメーカーにお問い合わせ下さい。
- ②クーラーを取り外す際は、事前に冷媒の抜き取り作業を実施して下さい。
- ③ヒーターを取り外す際は、事前に冷却水の抜き取り作業を実施して下さい。
- ④油圧ジャッキを取り外す際は、事前にオイルの抜き取り作業を実施して下さい。

## 2. 外装部品の取り外し

- ①フェンダートリム・モール等の取り外し(挟み込み・接着固定)
- ②ワイパー・サイドミラーの取り外し(ビス・ボルト固定)
- ③天幕・天幕カバー・手スリの取り外し(ボルト・リベット固定)
- ④前後バンパーの取り外し(ボルト固定)  
FRP製と鋼板製のバンパーがあります。
- ⑤フロントリッドの取り外し(ビス固定)  
樹脂と鉄に分離して下さい。
- ⑥ヘッドランプ・テールランプ等の灯火類の取り外し(ビス固定)
- ⑦フロントガラス・リアガラス・側面固定窓・サッシの取り外し  
サッシは枠とガラスに分離して下さい
- ⑧スカートリッドの取り外し(ボルト固定)  
ロックの無い部分は、スカート下端裏側でボルト固定されています。
- ⑨運転席ドア・助手席ドア・後面扉・側面扉の取り外し(ボルト固定)  
本体とガラス・ゴム等は素材別で分離して下さい。
- ⑩コードリール・燃料タンク・乗降口補助ステップ等、床下架装物の取り外し(ビス・ボルト固定)  
燃料タンク内部には、軽油・ガソリンが残存していますので十分注意して扱って下さい。

## 3. 内装部品及び内板のバラシ

- ①座席・ベンチシート・跳ね上げ席の取り外し(ビス固定)  
本体とベルト・クッションは素材別で分離
- ②カーペット・カーテン等室内装飾品取り外し(ホック・マジックテープ止め)
- ③木製家具の取り外し(ビス・接着固定)  
家具はビスを外した後バール等を用いて解体
- ④間仕切窓ガラスの取り外し  
間仕切窓ガラスは、接着にて取り付けされています。
- ⑤間仕切扉の取り外し(ヒンジ部ボルト固定)  
扉内部には発砲スチロールが挿入されています。本体と分離して処理して下さい。
- ⑥配電盤・スイッチボックス・室内灯・コンセント等室内電装部品取り外し(ビス固定)  
電装部品には、水銀等環境負荷物質が使用されている場合があります。
- ⑦天井内板の取り外し(ビス・接着固定)  
鋼板又は合板が使用されています。ビス固定されているモールを取り外しバール等で解体して下さい。
- ⑧側内板・間仕切内板の取り外し  
鋼板又は合板が使用されています。  
鋼板仕上げの場合(ビス又はスポット溶接及びシール材により取り付け)  
スポット溶接部は打点を探し、8mm程度のキリで穴を開け剥がします。  
※打点が見つげにくい場合は、鉄板の周囲の塗装をサンダーで剥がし確認して下さい。  
スポット溶接を剥した後、サンダー・バール等で解体して下さい。  
合板仕上げの場合(シール材等により取り付け)  
モール等を取り外し、バール等で解体して下さい。
- ⑨内外板間・間仕切骨格内のグラスウール・発砲スチロール取り外し
- ⑩クーラーダクト取り外し  
ダクトはビス及びスポット溶接にて取り付けされています。サンダー・バール等で解体して下さい。  
ダクト内部にはウレタンシートが貼ってあります。分離して処理して下さい。
- ⑪クーラー冷媒配管、ドレンホース取り外し(ビス固定)
- ⑫クーラーダクト部内板取り外し(ビス又は溶接等で固定)
- ⑬内外板間、間仕切骨格内の配線材を抜き取り

⑭間仕切骨格の解体(ビス又は溶接にて固定)

サンダー・ハンマー等で周囲の溶接部を外し、切断機等で解体して下さい。

⑮エンジン・ミッション点検蓋取り外し(ボルト固定)

上面の塩ビ材・ベニヤ板・断熱材・受け皿に分解し処理して下さい。

⑯床ベニヤ剥がし(ビス・接着固定)

周囲の縁材を取り外し上面に接着されている塩ビ材を剥がした後、ビスを外しバール等で剥がして下さい。

## 4. ボデー外板のバラシ

①天井外板を取り外し(リベット及びスポット溶接等にて固定)

②側外板を取り外し(溶接及びシール材等で車体の骨格材に固定)

1. スポット溶接を剥します。剥し方は内板同様です。
2. 溶接部はサンダーで削り、取り外します。
3. シール接着部は車内側からカッター等で切りはなします。
4. バール等で外板材を剥がします。

## 5. 車体骨格の解体

本車体の骨格は、前構体・後構体・天井構体・側面左右構体・床構体と各部パネル方式にて構成されています。

上記各構体の接合は、溶接で施工されています。

解体の際は、パネル間の接合部の取り外し、もしくは付近の骨格を切断することで、パネル単位でのバラシを行った後、廃棄可能な状態に裁断して下さい。

各パネルを取り外す際は必ずクレーン等を使用し、吊り上げた状態で行って下さい。

(クレーン吊り上げ能力: 500Kg以上)